

表4 新旧の微地形区分データと経験式の対応

	① 従来（中間報告）の手法	② 新しい手法（本検討）
メッシュサイズ	約 1km	約 250m
地形区分の方法	国土数値情報	若松・松岡（2007）
地形区分 ⇔ AVS30 ^{※1}	藤本・翠川（2003）	松岡・他（2005）
AVS30 ⇔ 最大速度増幅率	松岡・翠川（1994）	藤本・翠川（2006）
最大速度 ⇔ 計測震度	翠川・他（1999） ^{※2}	藤本・翠川（2005） ^{※3}

※1 地表から深さ 30m までの平均 S 波速度

※2 $I = 2.68 + 1.72 \cdot \log(PGV)$ $4 \leq I$

※3 $I = 2.002 + 2.603 \cdot \log(PGV) - 0.213 \cdot \{\log(PGV)\}^2$ $4 \leq I$

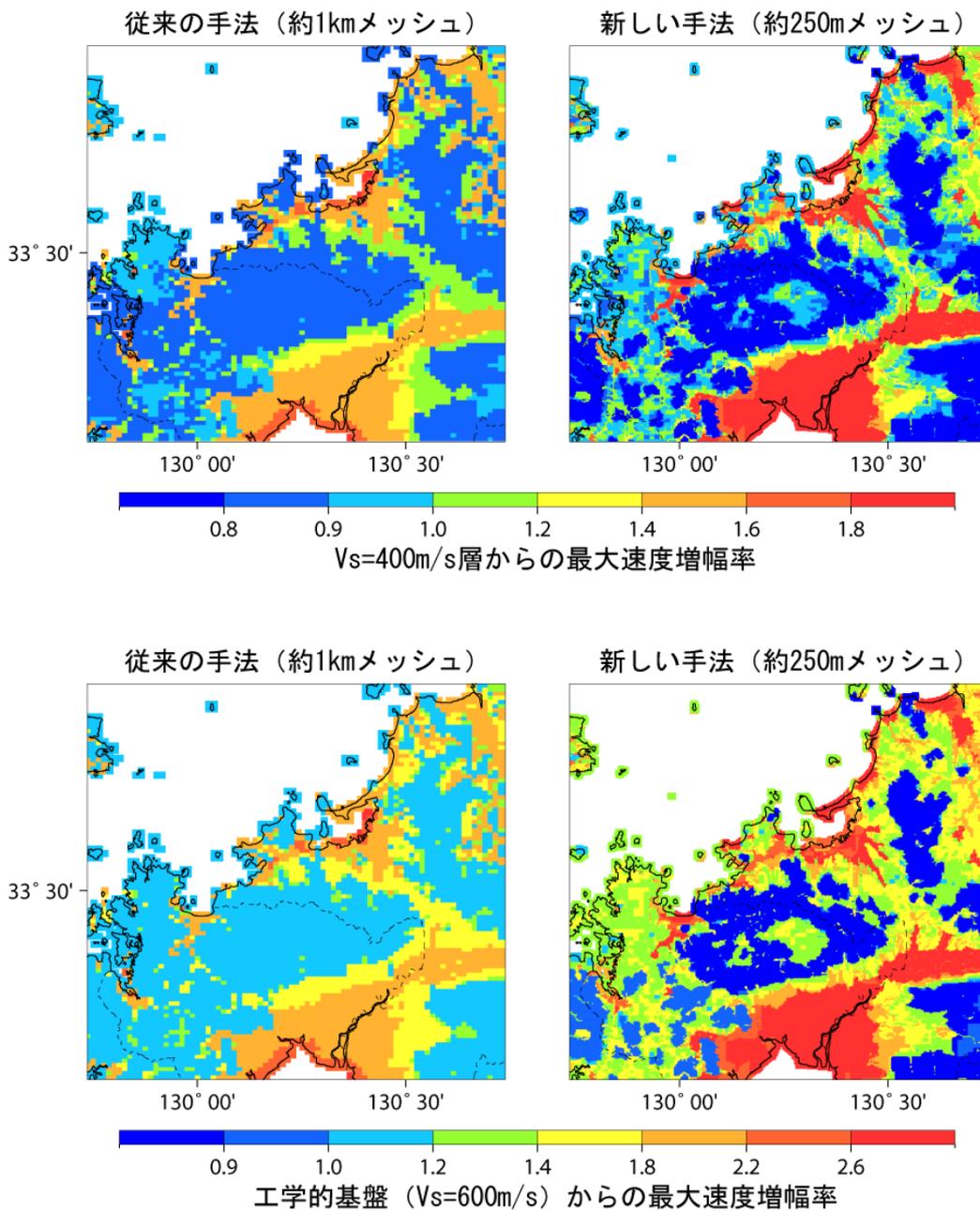


図5 浅い地盤構造モデル（最大速度増幅率）の比較